

# 災害・紛争を乗り越えて —未来に輝け!世界の子どもたち—

世界各地で、絶え間なく起こる災害や紛争のために、  
いまも多くの子どもたちが厳しい環境のなかで日々を懸命に生きています。  
私たちはその子どもたちへどのように手を差し伸べることができるのか。  
現地の活動体験をもとに、最も必要な視点について考えます。

# 8.25<sup>土</sup> 10:00~16:30

(12:30~13:30休憩)



パレスチナ自治区 避難民キャンプにて。  
ゴミの散らばる狭い路地を歩く子どもたち。  
©UNICEF NYHQ2012-0312 Giacomo Pirozzi

【会場】 大阪市中央公会堂 B1F展示室

(大阪府北区中之島1-1-27)  
地下鉄御堂筋線/京阪電鉄「淀屋橋」駅下車  
①番出口から徒歩約5分  
地下鉄堺筋線/京阪電鉄「北浜」駅下車  
②号出口から徒歩約6分  
京阪電鉄中之島線「なにわ橋」駅下車  
①番出口から徒歩約1分

【定員】 60名

定員になり次第締め切ります。

【参加費】 無料

【申込方法】 大阪ユニセフ協会へ電話、FAX、メールで申し込み  
(但し、8月12日~20日は夏休みのため事務局閉室)

## 1 10:10~11:10 基調講演 最も疎外されている子どもたちの ためにUNICEFが目指すこと

世界には、まだ出生登録されないために、その存在すら知られていない子どもも、存在が分かりながら誰の手も届かない子どもがいます。そのような子どもたちはどこにいるのか。彼らのために UNICEF は、私たちはなにができるのか。



平林国彦 ユニセフ東京事務所代表

## 2 11:20~12:20 現地に技術を残す ~イラク難民の未来を見据えて~

2003年のイラク戦争以降、安全な場所を求めてヨルダンにきたイラク難民の推計は、約50~75万人。近年では第三国への移住や祖国への帰還が増え、ヨルダンにおけるUNHCRやUNICEFによる援助も縮小傾向にあります。では、残された難民たちはどうなるのでしょうか。



杉尾智子 公益社団法人日本国際民間協力会(NIPICCO)

## 3 13:30~14:30 ゴー!ゴー!ワクワクキャンプの はじまりとこれから

福島第一原発事故で、その地域に住む子どもたちを一時的に放射能から遠ざけ、楽しい時を過ごしてもらいたい。昨年、京都精華大学の卒業生や学生が中心となり、子どもたちを京都に迎えキャンプを開催しました。福島の子どものたちとの触れあいから感じたことをお話しします。



宮岡大哲、久保田美緒 京都精華大学

## 4 14:40~16:30 ワークショップ 「子どもたちへのメッセージ」

フォトランゲージの手法を用いて、各グループに配られた写真から多くの情報を読み取り、写っている国の状態や子どもたちの状況を推測し、各グループで発表。写真について正確なデータを得たのち、子どもたちへのメッセージを考えます。

大阪ユニセフ協会ボランティア

お申し込み

大阪ユニセフ協会 〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1 OCAT 2F

TEL: 06-6645-5123

FAX: 06-6645-5124

Email: un@unicef-osaka.jp